

## 学習意識調査結果の概要

### ■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の多いもの～

【小学校第5学年】

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問5⑩	基本的な生活習慣	朝、自分で起きることができる。	73.3	64.3	9.0
問6⑥	社会的実践力	お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある。	53.8	45.0	8.8
問1④	基礎体験	パソコンやインターネットをする。	56.3	48.1	8.2
問9①	学習スキル	黒板に書かれなくても、大事なことはノートに書きとめている。	60.5	54.0	6.5
問1⑪	基礎体験	美術館に行ったり、劇や音楽などを生で見たり聞いたりする。	28.7	24.5	4.2
問1③	基礎体験	テレビゲームなどのゲームをする。	78.4	74.4	4.0
問6⑫	自己成長力	どんな職業や進路が自分に適しているのかを知っている。	50.9	47.1	3.8
問7⑤	学習計画力	自分で学習の計画を立てている。	46.8	44.1	2.7

- ・肯定的な回答について全国と比較して上回った割合が最も大きい質問は、基本的な生活習慣で「朝、自分で起きることができる」かどうかについてであった。肯定的に回答した割合は、札幌市が73.3%、全国が64.3%となっており、9.0ポイント上回っている。
- ・基礎体験で「パソコンやインターネットをする」という質問について肯定的に回答している割合は、8.2ポイント全国を上回っている。パソコンやインターネットの活用度が全国と比べて高い様子が見えがえる。

### ■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の少ないもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問1⑨	基礎体験	自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する。	34.3	51.8	-17.5
問14⑦	学校での指導・活動	掃除やボランティア活動は積極的にしよう。	38.8	47.8	-9.0
問1⑫	基礎体験	放課後や土曜日などの学校行事に参加している。	31.9	40.4	-8.5
問14①	学校での指導・活動	自分のことは自分でするという習慣を身につけよう。	60.5	67.7	-7.2
問5⑬	社会的実践力	学校のきまりや規則を守っている。	66.5	73.6	-7.1
問14②	学校での指導・活動	見直しや確かめをして、勘違いや思い込みをなくそう。	69.0	75.3	-6.3
問9⑧	自宅学習習慣	宿題はきちんとやっている。	78.5	84.4	-5.9
問15⑧	学校での指導・活動	学習内容が理解できなかったり、テストでまちがえたりした原因について考える。	57.6	62.8	-5.2

- ・全国と比較して肯定的に回答した割合の差異の最も大きい質問は、基礎体験で「自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する」かどうかについてであった。肯定的に回答した割合は、札幌市が34.3%、全国が51.8%となっており、17.5ポイントの差となっている。
- ・「宿題はきちんとやっている」という質問について肯定的に回答した割合は78.5%であり、約8割の児童が自宅での学習習慣を身につけている様子が見えがえるが、全国と比較すると5.8ポイント下回る結果となっている。

【中学校第2学年】

■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の多いもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問1⑧	基礎体験	学習塾に通う。	54.1	46.6	7.5
問6⑱	基本的な生活習慣	朝、自分で起きることができる。	72.9	66.7	6.2
問1⑪	基礎体験	美術館に行ったり、劇や音楽などを生で見たり聞いたりする。	24.1	18.6	5.5
問1⑩	基礎体験	家のお手伝いをする。	69.9	64.5	5.4
問7⑥	社会的実践力	お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある。	46.0	41.0	5.0
問1④	基礎体験	パソコンやインターネットをする。	66.0	61.1	4.9
問1③	基礎体験	テレビゲームなどのゲームをする。	60.7	56.3	4.4
問6⑤	感じ取る力	ふだんから「ふしぎだな」「なぜだろう」と感じることもある。	74.0	70.1	3.9

- ・肯定的な回答について全国と比較して上回った割合が最も大きい質問は、基礎体験で「学習塾に通う」かどうかであり、全国よりも7.5ポイント上回っている。
- ・「朝、自分で起きることができる」という質問については、小・中学校ともに全国を上回る結果となっており、基本的な生活習慣に対する家庭での指導に配慮がなされている様子がうかがえる。
- ・「美術館に行ったり、劇や音楽などを生で見たり聞いたりする」、「お年寄りや障がいのある人に、進んで手助けをしたことがある」という質問については、小・中学校ともに全国を上回る結果となっている。

■全国と比較して差異の大きい質問 ～肯定的な回答の少ないもの～

問題	設問	出題内容	肯定的な回答		差
			札幌市	全国	
問3	部活動	部活動の参加状況	63.0	88.2	-25.2
問16⑦	学校での指導・活動	掃除やボランティア活動は積極的にしよう。	30.8	45.7	-14.9
問11⑤	学習定着の方略	授業で習ったことを、自分なりにわかりやすくまとめている。	40.2	48.5	-8.3
問1⑨	基礎体験	自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する。	16.5	24.6	-8.1
問7⑤	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	55.5	63.3	-7.8
問17⑥	学校での指導・活動	先生から、がんばっている先輩や友だちについての話を聞く。	33.5	40.9	-7.4
問17⑤	学校での指導・活動	学習することが、ふだんの生活や自分の将来にどのように役立つかについて話し合う。	24.9	31.5	-6.6
問17④	学校での指導・活動	友だちの良いところや友だちから学んだことを話し合う。	22.4	28.8	-6.4

- ・全国と比較して肯定的に回答した割合の差異の最も大きい質問は、部活動の参加状況であった。肯定的に回答した割合（現在部活動をしている生徒の割合）は、札幌市が63.0%、全国が88.2%となっており、25.2ポイント下回っている。
- ・「掃除やボランティア活動は積極的にしよう」と言われているかどうか、「自分が住んでいる地域での活動（地域の清掃など）に参加する」かどうかという質問については、小・中学校ともに肯定的に回答した割合が全国を下回る結果となっている。